

<概要>

原子力の平和利用を進める上で、厳正な[安全規制](#)を実施することはもちろんであるが、国民の理解と信頼をさらに深めるために、できる限り国民との意志の疎通を図ることが不可欠である。このため、我が国では、主要な[原子力施設](#)の設置に当たり、地元住民等に対する施設内容などの説明とそれに対する意見を聴くための公開ヒアリング及びその結果を当該原子力施設の設置計画に反映する制度が整えられている。また、公開ヒアリングの結果は報告書として公開されている。

公開ヒアリングには第1次と第2次があり、第1次公開ヒアリングは行政庁が主催し、その後開催される第2次公開ヒアリングは[原子力安全委員会](#)が主催する。なお、研究開発段階にある発電用原子炉や再処理事業については第1次公開ヒアリングが省略され、試験研究用原子炉については公開ヒアリングが開催されていない。

(注) 東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)に伴う福島第一原発事故を契機に原子力安全規制の体制が抜本的に改革され、新たな規制行政組織として[原子力規制委員会](#)が2012年9月19日に発足した。本データに記載されている[原子力発電所](#)の設置に当たって行う地元住民への公開ヒアリングに関する考え方や具体的な手順等についても原子力規制委員会により見直しや追加が行われる可能性がある。なお、原子力安全委員会は上記の規制組織改革によって廃止された。

<更新年月>

2012年02月

<本文>

1. 公開ヒアリングの概要

原子力施設の安全を確保し、原子力利用に関する国民の理解と信頼を深めるためには、国民との十分な意志疎通を図ることが必要不可欠である。このため、主要な原子力施設の設置に当たり、地元などの理解や協力を得ることを目的とした公開ヒアリングを開催する制度が確立されている。公開ヒアリングには第1次公開ヒアリングと第2次公開ヒアリングがある。第1次公開ヒアリングは行政庁(経済産業省)が主催し、第2次公開ヒアリングは原子力安全委員会が主催する。

(注: 原子力安全委員会は原子力安全・保安院とともに2012年9月18日に廃止され、原子力安全規制に係る行政を一元的に担う新たな組織の原子力規制委員会が2012年9月19日に発足した。)

第1次公開ヒアリングについては、昭和54年1月の通商産業省(現経済産業省)省議決定「原子力発電所の立地に係る公開ヒアリングの実施について」及び「原子力発電所の立地に係る公開ヒアリングの実施要綱」等に、その詳細が定められている。

第2次公開ヒアリングについては、「原子力安全委員会の当面の施策について」(昭和57年11月25日一部改正)、「原子力安全委員会の行う原子力施設に係る[安全審査](#)等について」(平成2年11月1日改正)、「公開ヒアリング等の実施方法について」(昭和57年11月25日原子力安全委員会了承)及び「原子力安全委員会委員長談話」(昭和57年11月25日)に、その実施方針などが示されている。

2. 公開ヒアリングの位置付け

第1次公開ヒアリングは、経済産業省による「原子力発電所の立地に係る公開ヒアリングの実施に関する規程」（平成13年3月）に基づき実施され、第2次公開ヒアリングは、原子力安全委員会による「原子力安全委員会の当面の施策について」（昭和57年11月一部改正）等に基づき実施される。

原子力施設の設置に関しては、「計画地点」の選定から「原子炉設置許可」までの計画段階において、立地可能性調査や環境影響評価等の手続きが必要であり、経済産業省が当該原子力発電所の設置に係る諸問題について、地元住民の理解を得るとともに、その意見を聴くことを目的として、関係者の協力のもと第1次公開ヒアリングが開催される。

一方、経済産業省が行った原子炉設置（変更）許可申請に対する安全審査（1次審査）の結果について、最新の科学技術的知見に基づき客観的な観点から安全審査（2次審査）が原子力安全委員会により行われる。原子力安全委員会は、実用発電用原子炉施設等の主要原子力施設の設置に係る安全審査について調査審議を行うに当たり、当該施設の固有の安全性について地元住民の意見等を聴取し、これを参酌することを目的として第2次公開ヒアリングが開催される。

図1は原子力発電所の設置計画から運転開始までに必要となる主要な手続きを示したものである。また、図2は原子力発電所の計画段階から廃止措置段階までの流れにおける公開ヒアリングの位置付けを示したものである。研究開発段階で発電に供するもの及び再処理事業については第1次公開ヒアリングが省かれ、第2次公開ヒアリングのみ実施されている（図3参照）。第1次公開ヒアリングでは、新增設する原子力施設の様々な問題について意見を聴くこと、第2次公開ヒアリングでは施設の安全性に関して意見を聴くことが主要な目的である（表1参照）。なお、試験研究炉及び研究開発段階炉のうち発電に供しないものは設置についての公開ヒアリングは省かれる。

3. 公開ヒアリングの実施内容

第1次公開ヒアリングでは、対象となる原子力施設の設置者（原子力発電所の場合は電気事業者）が説明者となって施設内容などの説明を行う。これは、国の審議会（総合資源エネルギー調査会・電源開発分科会）が電源開発基本計画案について審査する前に、原子力発電所の設置等に係る諸問題について地元住民から意見を聴くためのものである。

第2次公開ヒアリングでは、行政庁（原子力発電所の場合は経済産業省）が説明者となって安全評価の結果を説明する。具体的には、原子力発電所の建設に関して経済産業省から説明があり、続いて、地元の人を中心として学識者などを加えた意見陳述人による意見の陳述及び質問がなされ、それぞれに経済産業省から見解が述べられる。

何れの公開ヒアリングも基本的には地元会場が設けられ傍聴が可能である。また、公開ヒアリングの期日、場所、応募方法などはその都度官報に告示される。公開ヒアリングに係る資料は、経済産業省、文部科学省、立地県の県庁、地元及び周辺市町村役場などにおいて、官報告示の日から縦覧できる。公開ヒアリングの状況は、速やかに報告としてとりまとめられ公表される。また、原子力安全委員会が安全審査の結果を内閣総理大臣に答申する際に、公開ヒアリングに際し提起された意見等の参酌状況についてとりまとめたものも公表される。

なお、上述したような対話方式による公開ヒアリングが困難な場合には、地元において安全審査に関する担当官庁の説明会を開いた後、地元住民から文書による意見の提出を求めるなど、適切な意見聴取の方法がとられている。

4. 公開ヒアリングの開催実績

平成23年12月末現在、第1次公開ヒアリングは23回、第2次公開ヒアリングは28回開催されている。陳述人は第1次公開ヒアリングでは15名～73名であり、第2次公開ヒアリングでは8名～32名である。また、傍聴人は第2次公開ヒアリングで最大で934人（高速増殖原型炉もんじゅ）を記録している。第1次及び第2次公開ヒアリングの開催実績を表2及び表3に示す。

（前回更新：2002年5月）

<関連タイトル>

[公開ヒアリング等の実施方法について（1982年11月）（10-03-02-12）](#)

[原子力安全委員会の安全規制に関する活動（2001年）（11-01-01-02）](#)

[原子力安全委員会の安全規制に関する活動（2001年）（11-01-01-02）](#)

[原子力施設の安全確保を図るための基本的考え方（11-01-01-05）](#)

[原子力安全委員会の安全規制に関する活動（2009年）（11-01-01-07）](#)

<参考文献>

- (1) 原子力安全委員会（編）：平成13年版 原子力安全白書（平成14年4月）、
 - (2) 原子力安全委員会（編）：平成21年版 原子力安全白書、第3編 原子力安全確保のための諸活動（平成22年4月）
 - (3) 原子力安全委員会ホームページ：原子力施設の安全審査について、
 - (4) 経済産業省ホームページ: 九州電力（株）川内原子力発電所3号機の設置に係る第一次公開ヒアリングの開催のお知らせ
 - (5) （社）火力原子力発電技術協会（編）：火力原子力発電所における関連諸法規とその適用、（1988年6月初版）、p.3-16
 - (6) 原子力安全委員会：公開ヒアリング開催実績（平成20年7月末現在）、
 - (7) 経済産業省 資源エネルギー庁：九州電力（株）川内原子力発電所3号機の設置に係る公開ヒアリング報告書（平成22年7月）、
 - (8) 原子力安全委員会：公開ヒアリングの状況報告〔東京電力株式会社東通原子力発電所の原子炉の設置〕平成22年10月
-

表1 原子力発電所の第1次公開ヒアリングと第2次公開ヒアリングの違い

	第1次公開ヒアリング	第2次公開ヒアリング
主催者	経済産業省	原子力安全委員会
説明者	施設設置者	経済産業省
参酌する対象事項	新增設する原子力施設に係る諸問題	新增設する原子力施設に係る安全性
ヒアリングの公表形式	<ul style="list-style-type: none"> ・公開ヒアリングの結果の概要を公表 ・意見等の参酌状況を公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開ヒアリング状況報告書を終了後 可及的速やかに公表 ・意見等の参酌状況を原子力安全委員会 が行政庁に答申する際に公表

[出所]原子力安全委員会:公開ヒアリング開催実績(平成20年7月末現在)、

<http://www.nsc.go.jp/anzen/sonota/topics/data/20081010/03.pdf>、p.4

表2 第1次公開ヒアリングの開催実績一覧

	対象施設	開催年月日	開催場所	当該市町村	陳述人	傍聴人	炉型・出力
1	東京電力㈱ 柏崎刈羽原子力発電所2,5号炉	S55.12.4(木)	新潟県柏崎市 柏崎市武道館	柏崎市,刈羽村,長岡市,越路町,出雲崎町,高柳町,小国町,西山町,大島村,柿崎町,吉川町	20名	241名	BWR 110万KW
2	中国電力㈱ 島根原子力発電所2号炉	S56.1.28(水)	島根県八束郡鹿島町 鹿島町立武道館	鹿島町,松江市,島根町	20名	220名	BWR 82万KW
3	東北電力㈱ 巻原子力発電所1号炉	S56.8.28(金)	新潟県西蒲原郡巻町 巻町営体育館	巻町,新潟市,岩室村,吉田町,西川町,湯東町,中之口町	20名	317名	BWR 82.5万KW
4	北海道電力㈱ 泊発電所1,2号炉	S56.12.9(水)	北海道古宇郡白村 旧泊中学校体育館	泊村,共和町,岩内町,神恵内村	18名	250名	PWR 57.9万KW
5	九州電力㈱ 玄海原子力発電所3,4号炉	S57.7.16(金)	佐賀県唐津市唐津市都市 青年の家体育館	玄海町,唐津市,筑西町,呼子町,肥前町	24名	355名	PWR 118万KW
6	四国電力㈱ 伊方発電所3号炉	S57.11.18(木)	愛媛県西宇和郡伊方町 見体育館	伊方町,八幡浜市,保内町,瀬戸町,三崎町	24名	563名	PWR 89万KW
7	関西電力㈱ 大飯発電所3,4号炉	S59.11.16(金)	福井県大飯郡大飯町 総合市民福祉センター	大飯町,小浜市,名田庄村,高浜町,綾部市	24名	362名	PWR 118万KW
8	東京電力㈱ 柏崎刈羽原子力発電所3,4号炉*1	S60.1.10(木)~ 2.8(金)		柏崎市,刈羽村,長岡市,越路町,出雲崎町,高柳町,小国町,西山町,大島村,柿崎町,吉川町	73名		BWR 110万KW
9	中部電力㈱ 浜岡原子力発電所4号炉	S61.8.5(火)	静岡県小笠郡浜岡町 浜岡町町民会館	浜岡町,御前崎町,相良町,小笠町,大東町	25名	408名	BWR 113.7万KW
10	北陸電力㈱ 能登原子力発電所1号炉	S61.9.3(水)	石川県羽咋郡志賀町 志賀町文化福祉会館	志賀町,羽咋市,富来町,田鶴浜町,鳥屋町,中島町,鹿西町	20名	413名	BWR 54万KW
11	東北電力㈱ 女川原子力発電所2号炉	S61.12.2(火)	宮城県牡鹿郡女川町 女川町総合体育館	女川町,石巻市,河北町,雄勝町,牡鹿町	20名	311名	BWR 82.5万KW
12	東京電力㈱ 柏崎刈羽原子力発電所6,7号炉	S62.11.29(日)	新潟県新潟市新潟県庁	柏崎市,刈羽村,長岡市,越路町,出雲崎町,高柳町,小国町,西山町,大島村,柿崎町,吉川町	14名	170名	ABWR 135.6万KW
13	東北電力㈱ 女川原子力発電所3号炉	H5.11.25(火)	宮城県牡鹿郡女川町 女川町総合体育館	女川町,石巻市,河北町,雄勝町,牡鹿町	20名	311名	BWR 82.5万KW
14	東北電力㈱ 東通原子力発電所1号炉	H8.4.17(水)	香森県下北郡東通村 東通村体育館	東通村,むつ市,横浜町,六ヶ所村	24名	272名	BWR 110万KW
15	北陸電力㈱ 志賀原子力発電所2号炉	H8.11.21(木)	石川県羽咋郡志賀町 能登町イアルホール	志賀町,羽咋市,富来町,田鶴浜町,鳥屋町,中島町,鹿西町	20名	325名	ABWR 135.8万KW
16	中部電力㈱ 浜岡原子力発電所6号炉	H8.12.18(水)	静岡県小笠郡浜岡町 浜岡町町民会館	浜岡町,御前崎町,相良町,大東町,小笠町	20名	500名	ABWR 138万KW
17	中国電力㈱ 島根原子力発電所3号炉	H10.11.11(水)	島根県八束郡鹿島町 鹿島町町民会館	鹿島町,松江市,島根町	19名	240名	ABWR 137.3万KW
18	電源開発㈱ 大間原子力発電所	H10.12.17(木)	香森県下北郡大間町 北通り総合文化センター「119」	大間町,風間浦村,佐井村,大畑町	21名	255名	ABWR 138.3万KW
19	北海道電力㈱ 泊発電所3号炉	H11.6.2(水)	北海道古宇郡白村 泊村公民館	泊村,共和町,岩内町,神恵内村	24名	285名	PWR 91.2万KW
20	中国電力㈱ 上関原子力発電所1,2号炉	H12.10.31(火)	山口県熊毛郡上関町 上関町民体育館	上関町,柳井市,平生町	20名	324名	ABWR 137.3万KW
21	日本原子力発電㈱ 敦賀発電所3,4号炉	H14.2.22(金)	福井県敦賀市敦賀市民文 化センター	敦賀市,今庄町,河野村,美浜町,余呉町,西浅井町,マキノ町	20名	812名	APWR 153.8万KW
22	東京電力㈱ 東通原子力発電所1,2号炉	H15.11.19(水)	香森県下北郡東通村 東通村体育館	東通村,むつ市,六ヶ所村,横浜町	15名	267名	ABWR 138.5万KW
23	九州電力㈱ 川内原子力発電所3号炉	H22.5.18(火)	鹿児島県薩摩川内市 文化ホール	川内市,阿久根市,串木野市,東郷町,樋脇町,里村,上飯村,下飯村,鹿島村	20名	903名	PWR 159万KW

*1 文書による意見聴取

下記の出所をもとに作成した。

【出所】(1) 原子力安全委員会:公開ヒアリング開催実績(平成20年7月末現在)、
<http://www.nsc.go.jp/anzen/sonota/topics/data/20081010/03.pdf>

(2) 経済産業省 資源エネルギー庁:九州電力(株)川内原子力発電所3号機の設置に係る公開ヒアリング報告書
(平成22年7月)、<http://www.meti.go.jp/press/20100726003/20100726003-2.pdf>

表3 第2次公開ヒアリングの開催実績一覧

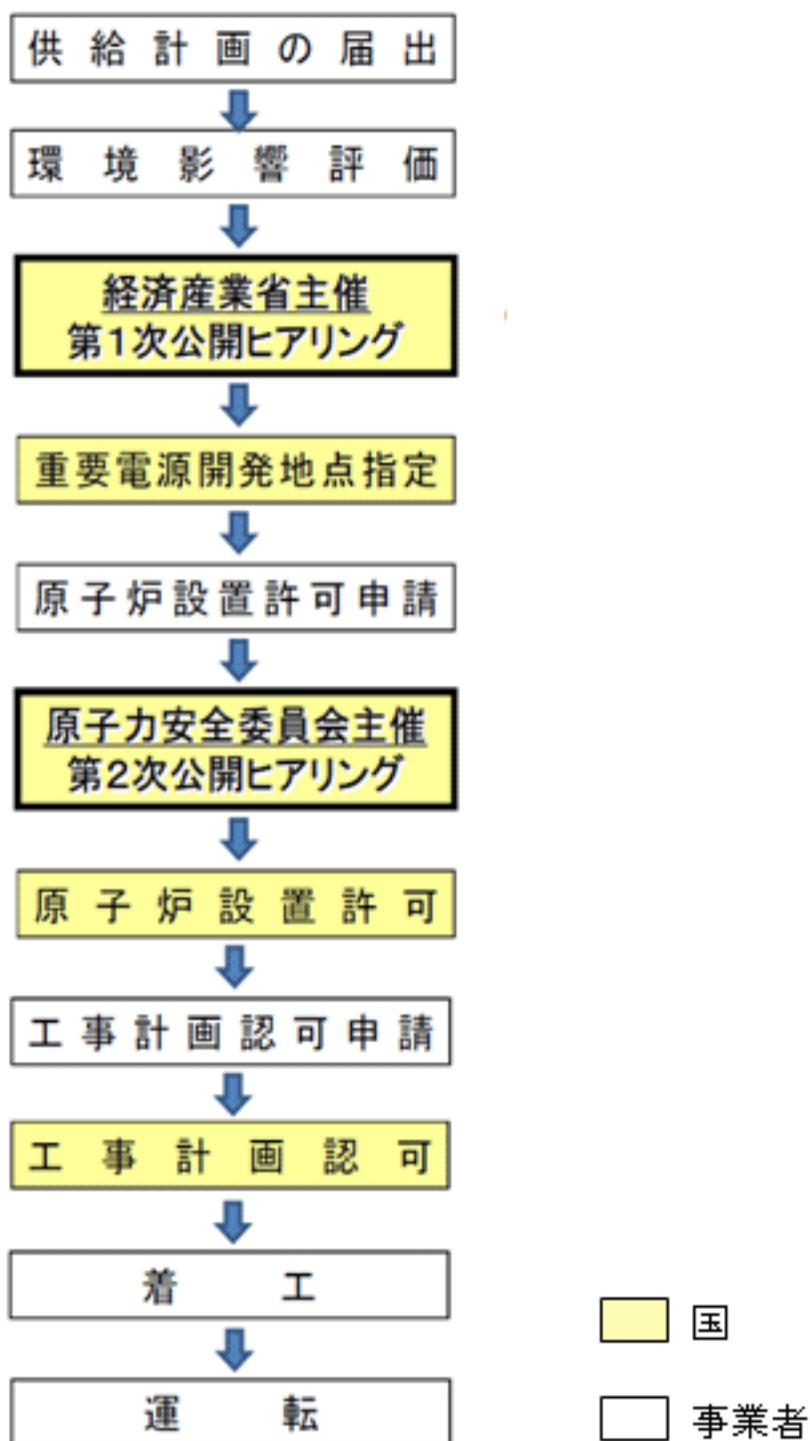
	対象施設	開催年月日	開催場所	当該市町村	陳述人	傍聴人	炉型・出力
1	関西電力㈱ 高浜発電所3,4号炉	S55. 1.17(木)	福井県高浜町立中央センター	高浜町、大飯町、舞鶴市、綾部市	16名	156名	PWR 87万KW
2	東京電力㈱ 福島第二原子力発電所3,4号炉	S55. 2.14(木)	福島県福島市蒲田町 卸町総合センター	富岡町、大熊町、楡葉町、川内村、その他県内(10%)	20名	312名	BWR 110万KW
3	九州電力㈱ 川内原子力発電所2号炉	S55. 7.17(木)	鹿児島県川内市民会館	川内市、阿久根市、串木野市、東郷町、樋脇町、里村、上甑村、下甑村、鹿島村	20名	872名	PWR 89万KW
4	日本原子力発電㈱ 敦賀発電所2号炉	S55.11.20(木)	福井県敦賀市敦賀市民文化センター	敦賀市、美浜町、河野村、今庄町、西浅井町、マキノ町、余呉町	20名	869名	PWR 116万KW
5	中部電力㈱ 浜岡原子力発電所3号炉	S56. 3.19(木)	静岡県浜岡町町民会館	浜岡町、小笠町、大東町、御前崎町、相良町	21名	702名	BWR 110万KW
6	動力炉・核燃料開発事業団 高速増殖原型炉もんじゅ	S57. 7. 2(金)	福井県敦賀市敦賀市民文化センター	敦賀市、美浜町、河野村、今庄町、西浅井町、マキノ町、余呉町	20名	934名	FBR 28万KW
7	東京電力㈱ 柏崎刈羽原子力発電所2, 5号炉*2	S58. 1.23(日)	新潟県庁	柏崎市、刈羽村、長岡市、越路町、出雲崎町、高柳町、小国町、西山町、大島村、柿崎町、吉川町	28名		BWR 110万KW
8	中国電力㈱ 島根原子力発電所2号炉	S58. 5.13(金) 14(土)	島根県立武道館	鹿島町、島根町、松江市	32名	698名	BWR 82万KW
9	北海道電力㈱ 泊発電所1, 2号炉	S58.12.22(木) 23(金)	北海道古宇郡泊中学校体育館	泊村、共和町、岩内町、神恵内村	27名	296名	PWR 57.9万KW
10	九州電力㈱ 玄海原子力発電所3, 4号炉	S59. 6.18(月)	佐賀県唐津市都市青年の家体育館	玄海町、唐津市、鎮西町、呼子町、肥前町	13名	353名	PWR 118万KW
11	四国電力㈱ 伊方発電所3号炉	S60.10. 4(金)	愛媛県西宇和郡伊方町町見体育館	伊方町、八幡浜市、保内町、瀬戸町、三崎町	16名	359名	PWR 89万KW
12	関西電力㈱ 大飯発電所3, 4号炉*2	S61.11.11(火)	福井県大飯郡大飯町トレーニングセンター	大飯町、小浜町、名田庄村、高浜町、綾部市	13名		PWR 118万KW
13	東京電力㈱ 柏崎刈羽原子力発電所3, 4号炉*1	S62. 1.16(金)		柏崎市、刈羽村、越路町、西山町、小国町、吉川町、柿崎町、大島村、長岡市、高柳町、出雲崎町	31名		BWR 110万KW
14	中部電力㈱ 浜岡原子力発電所4号炉*2	S63. 1.26(火)	静岡県原子力広報研修センター	浜岡町、小笠町、相良町、大東町、御前崎町	8名		BWR 113.7万KW
15	北陸電力㈱ 能登原子力発電所1号炉	S63. 2.24(水)	石川県志賀町文化福祉会館	志賀町、羽咋市、富来町、田鶴浜町、鳥屋町、中島町、鹿西町	16名	418名	BWR 54万KW
16	東北電力㈱ 女川原子力発電所2号炉	S63. 8.25(木)	宮城県女川町総合体育館	女川町、石巻市、牡鹿町、河北町、雄勝町	17名	376名	BWR 82.5万KW
17	日本原燃産業㈱ 六ヶ所低レベル放射性廃棄物貯蔵センター	H 2. 4.26(木)	青森県六ヶ所村立総合体育館	六ヶ所村、三沢市、野辺地町、横浜町、上北町、東北町、東通村、その他県内	16名	570名	
18	東京電力㈱ 柏崎刈羽原子力発電所6, 7号炉	H 2. 6. 3(日)	新潟県庁	柏崎市、刈羽村、長岡市、越路町、出雲崎町、高柳町、小国町、西山町、大島村、柿崎町、吉川町	16名	230名	ABWR 135.6万KW
19	日本原燃サービス㈱ 六ヶ所事業所廃棄物管理の事業再処理の事業	H 3.10.30(水)	青森県六ヶ所村立総合体育館	六ヶ所村、三沢市、野辺地町、横浜町、上北町、東北町、東通村、その他県内	16名	627名	
20	東北電力㈱ 女川原子力発電所3号炉	H 7. 8.24(木)	宮城県女川町総合体育館	女川町、牡鹿町、石巻市、河北町、雄勝町	16名	378名	BWR 82.5万KW
21	東北電力㈱ 東通原子力発電所1号炉	H 9.11.27(木)	青森県東通村体育館	東通村、むつ市、横浜町、六ヶ所村	17名	445名	BWR 110万KW
22	中部電力㈱ 浜岡原子力発電所5号炉	H10. 6. 4(木)	静岡県小笠郡浜岡町町民会館	浜岡町、御前崎町、相良町、大東町、小笠町	18名	456名	ABWR 138万KW
23	北陸電力㈱ 志賀原子力発電所2号炉	H10.10.16(金)	石川県羽咋郡能登町イナルホール	志賀町、羽咋市、富来町、田鶴浜町、鳥屋町、中島町、鹿西町	18名	264名	ABWR 135.8万KW
24	北海道電力㈱ 泊発電所3号炉	H14.11.22(金)	北海道古宇郡泊村泊公民館	神恵内村、泊村、岩内町、共和町	17名 (1名欠席)	248名	PWR 91.2万KW
25	中国電力㈱ 島根原子力発電所3号炉	H16.7.21(水)	島根県八束郡鹿島町鹿島町町民会館	鹿島町、松江市、島根町	18名	262名	ABWR 137.3万KW
26	電源開発㈱ 大間原子力発電所	H17.10.19(水)	青森県大間町北通「総合文化センター「ウイング」	大間町、むつ市、風間浦村、佐井村、函館市	18名 (1名辞退)	401名	ABWR 138.3万kw
27	日本原燃㈱ 再処理事業所、核燃料物質の加工事業	H19.9.6(木)	青森県六ヶ所村文化交流プラザ「スワニー」	六ヶ所村、三沢市、野辺地町、横浜町、東北町、東通村、その他県内	13名	148名	
28	東京電力㈱ 東通原子力発電所1, 2号炉	H22.8.11(水)	青森県下北郡東通村体育館	東通村、むつ市、横浜町、六ヶ所村	6名	140名	ABWR 138.5万kW

*1 文書による意見聴取 *2 「地元意見を聴く会」を開催

下記の出所をもとに作成した。

【出所】(1) 原子力安全委員会: 公開ヒアリング開催実績(平成20年7月末現在)、
<http://www.nsc.go.jp/anken/sonota/topics/data/20081010/03.pdf>

(2) 原子力安全委員会: 公開ヒアリングの状況報告[東京電力株式会社東通原子力発電所の原子炉の設置]
平成22年10月、http://www.nsc.go.jp/info/20101007_1.pdf



下記の出所をもとに作成した。

図1 原子力発電所立地手続きの概要 (川内原子力発電所3号機の例)

【出所】経済産業省ホームページ：九州電力㈱川内原子力発電所
3号機の設置に係る第一次公開ヒアリングの開催のお知らせ、
<http://www.meti.go.jp/press/20100408001/20100408001.html>

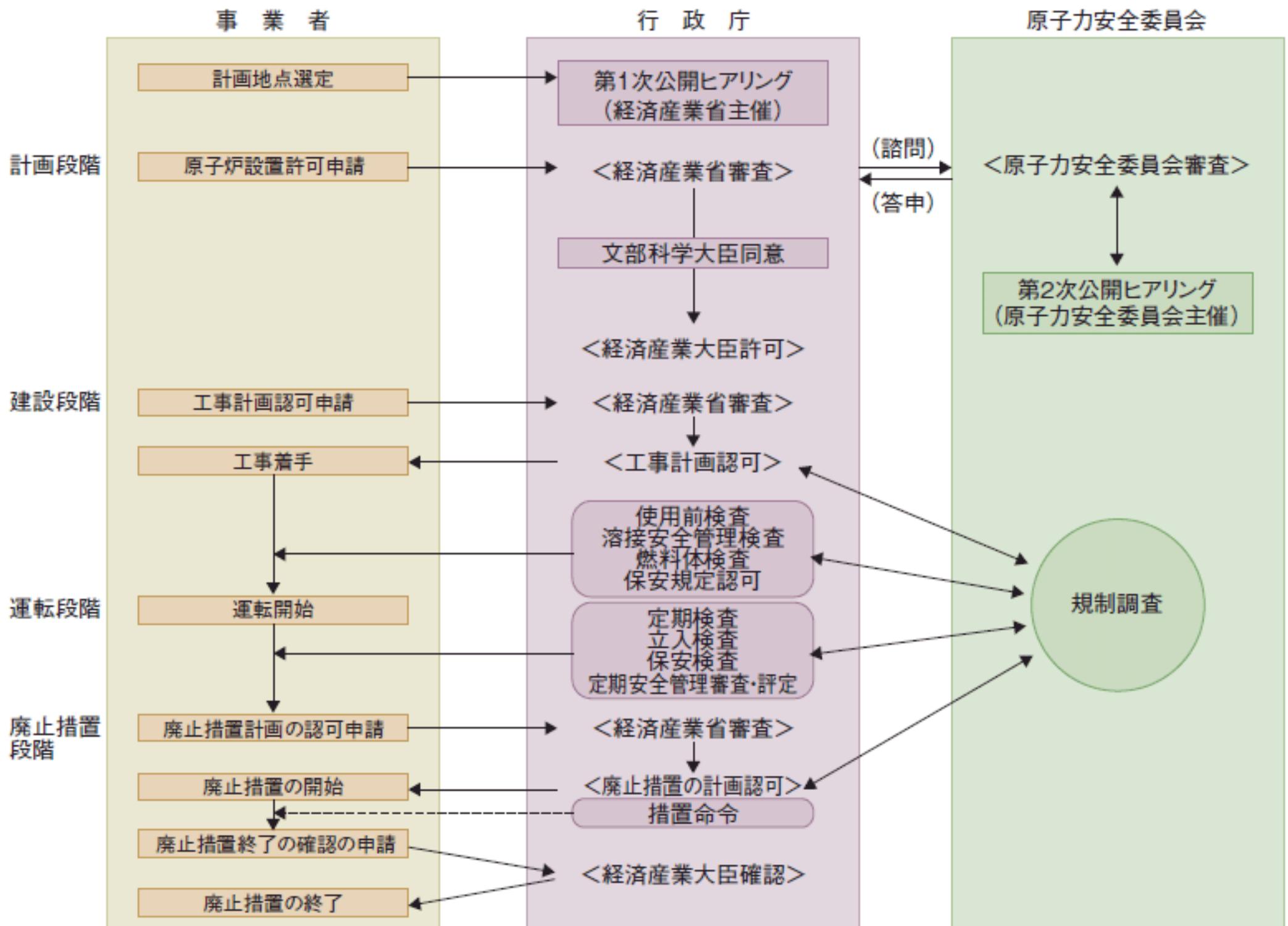


図2 実用発電用原子炉施設の計画段階から廃止措置段階までの流れ

【出所】原子力安全委員会(編):平成21年版 原子力安全白書、第3編 原子力安全確保のための諸活動 (平成22年4月)、
http://www.nsc.go.jp/hakusyo/hakusyo21/pdf/03hen_syou1.pdf, p.87

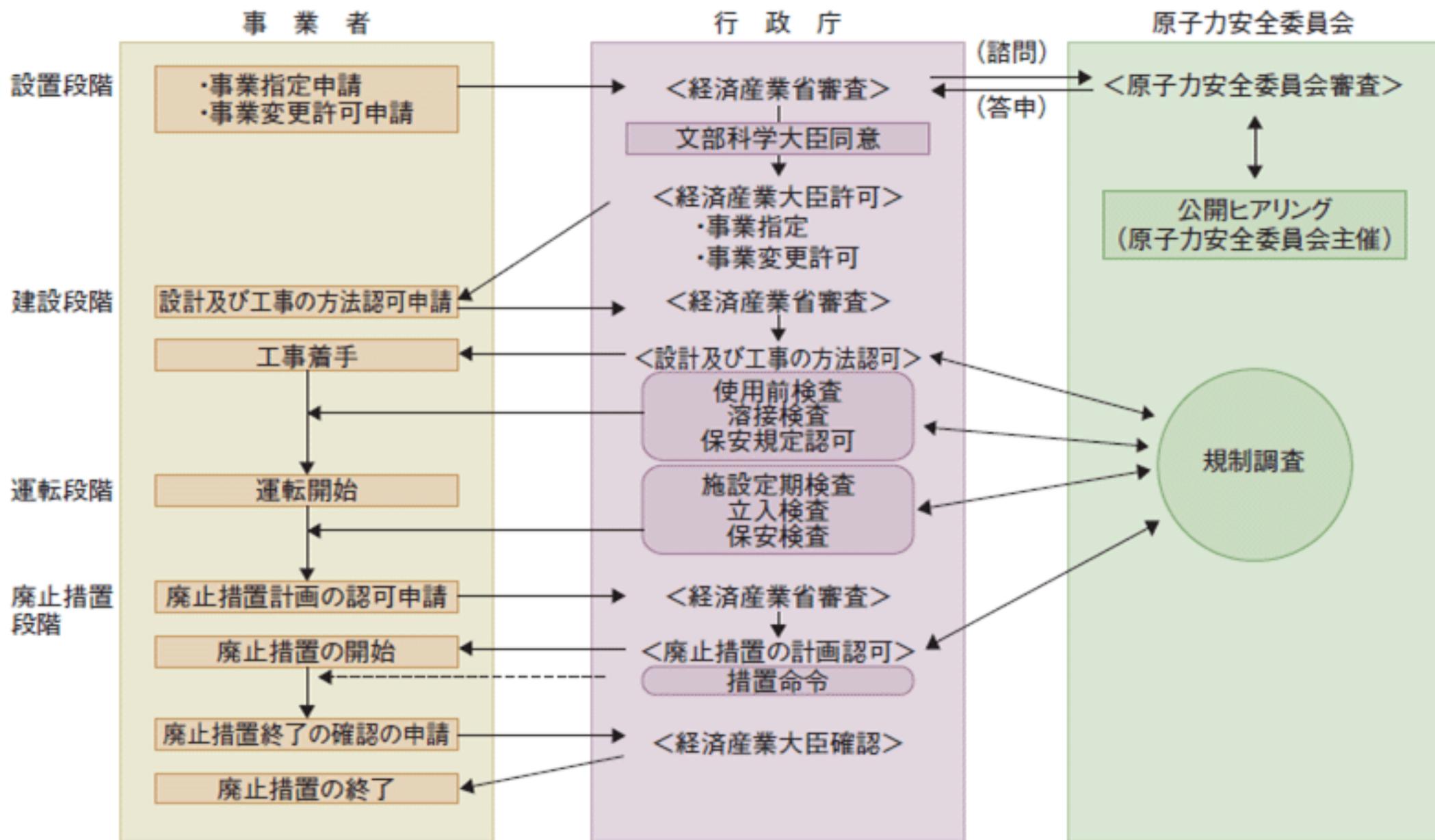


図3 再処理事業の設置段階から廃止措置段階までの流れ

【出所】原子力安全委員会(編):平成21年版 原子力安全白書、第3編 原子力安全確保のための諸活動(平成22年4月)、
http://www.nsc.go.jp/hakusyo/hakusyo21/pdf/03hen_syoushou1.pdf, p.97